

2019年度 研究開発助成事業 イノベーション創出研究支援事業 発展・橋渡し研究補助金（5件）

No.	研究開発テーマ名 および 研究概要	研究者氏名【所属／役職等】
1	<p>地まきホタテガイ漁場可視化システムの高精度化と資源量補正技術の開発</p> <p>国内最大規模を誇る地まきホタテガイ漁業の生産安定化を支援する高度資源管理ツールとして漁場可視化システムを開発したが、実データによる評価試験で検出精度等に課題が判明した。そこで、複数海域のデータを用いてホタテガイ自動判別プログラムの精度向上および判別後の資源量推定値の補正法を確立し、事業化を目指す。</p>	<p>千葉 兼久 [恵比寿システム(株) / 代表取締役] 飯島 俊匡 [(地独)北海道立総合研究機構 工業試験場 / 研究主任] 栗原 康裕 [(地独)北海道立総合研究機構 網走水産試験場 / 主任主査] 三好 晃治 [(地独)北海道立総合研究機構 網走水産試験場 / 研究職員]</p>
2	<p>抗生剤に頼らないプロバイオティクスを応用した新規家畜疾病予防法の開発</p> <p>抗生剤はヒトに限らず農業分野における細菌感染症の治療薬として有用な化学療法剤である。しかし、過剰量の抗生剤投与に伴う家畜由来の耐性菌の出現が世界規模で脅威になっている。本研究開発では、安全かつ栄養価に富み免疫を賦活させる発酵人工乳を開発し、子牛の消耗が激しい下痢症等に対する新規予防法として活用する。</p>	<p>今内 覚 [北海道大学大学院獣医学研究院 / 准教授] 岡川 朋弘 [北海道大学大学院獣医学研究院 / 特任助教] 本間 満 [雪印種苗(株) 研究開発本部飼料研究グループ / グループリーダー] 納多 春佳 [雪印種苗(株) 研究開発本部飼料研究グループ / 研究員] 久保田 学 [北海道ひがし農業共済組合 釧路市中部事業センター / 獣医師] 茅先 史 [北海道ひがし農業共済組合 虹別家畜診療所 / 獣医師]</p>
3	<p>北海道資源を活用した生体用移植材の新規加工形態開発とその機能評価</p> <p>我々は、ある組織を利用し再生用移植材を作製する独自技術を有する。本技術を転用し北海道資源を活用した医療用バイオマテリアルを開発中である。これまでの支援により試作品の完成に加え、動物実験による安全性と機能性を確認した。本年度は、新たな加工形態の開発により本移植材の治療適応範囲を広げることを目的とする。</p>	<p>大久保 直登 [北海道大学大学院薬学研究院 / 助教] 村田 勝 [北海道医療大学大学院歯学研究所 / 教授] 武田 宏司 [北海道大学大学院薬学研究院 / 教授] 北川 善政 [北海道大学大学院歯学研究院 / 教授] 赤澤 敏之 [(地独)北海道立総合研究機構 工業試験場 / 専門研究主幹] 関山 真教 [旭川機械工業(株) / 代表取締役] 橋本 裕之 [(地独)北海道立総合研究機構 林産試験場 / 研究主査] 北村 龍司 [豊平動物病院 いぬねこデンタルサービス / 院長] 依田 知則 [(8月設立予定の新会社) / 代表取締役]</p>
4	<p>道産ナノセルロースの表層化学改質と超高強度材料への応用展開</p> <p>発酵セルロースナノファイバー (NFBC) は先行セルロースナノファイバーよりも極めて高いアスペクト比を有しており、構造強化材として期待できる。水中分散したNFBCを直接表層疎水化する技術を開発し、疎水化NFBCと疎水性樹脂との接着性を高めることにより、超高強度繊維強化樹脂を提供する方法論を構築する。</p>	<p>甲野 裕之 [苫小牧工業高等専門学校創造工学科 / 教授] 田島 健次 [北海道大学大学院工学研究院 / 准教授] 沼田 ゆかり [小樽商科大学商学部 / 教授] 松島 徳雄 [草野作工(株) / 企画室長]</p>
5	<p>官能特性をベースとした分光分析による赤身肉評価装置の開発</p> <p>本研究は、官能特性および理化学分析値をベースとした科学的根拠を持つ赤身枝肉の肉質を評価することを目的とし、食肉の「やわらかさ」、「香り」などの官能特性の他にオレイン酸、pH、肉色など理化学分析値を枝肉の状態で正確かつ高度な推定技術を確立させ、食肉処理場で利用可能な非破壊的赤身肉評価装置を開発する。</p>	<p>口田 圭吾 [帯広畜産大学生命・食料科学研究部門 / 教授] 阿佐 玲奈 [帯広畜産大学生命・食料科学研究部門 / 特任研究員] 鹿野 淳 [(一社)ミート・イメージ ジャパン / 副理事長]</p>